

令和4年度 学校教育自己診断【教職員用】集計結果

	肯定的 回答	否定的 回答	わから ない	小	中	高	昨年度 肯定的	比較
問1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	96.4%	2.9%	0.7%	98.0%	100.0%	90.7%	93.4%	3.0%
問2 めざす学校像「笑顔きらめく元気な学校」「君の得意を見つけ伸ばそういいところ」「つながる心つなげよう未来へ」に基づいて、教育活動を行っている。	89.1%	8.8%	2.2%	94.1%	90.7%	81.4%	83.1%	6.0%
問3 児童生徒の人権を十分に尊重して、日常の教育活動を行っている。	97.8%	0.7%	1.5%	98.0%	97.7%	97.7%	96.3%	1.5%
問4 年間の学習指導計画や、指導内容について、日常的に各部、学年、教科、グループ等で話し合い、児童生徒の実態に合わせて、適宜指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている。	94.9%	4.4%	0.7%	100.0%	93.0%	90.7%	90.2%	4.7%
問5 学習評価では3観点を意識し、バランスよく評価している。	89.8%	8.8%	1.5%	92.2%	93.0%	83.7%	77.4%	12.4%
問6 カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。	91.2%	5.1%	3.6%	94.1%	90.7%	88.4%	88.1%	3.1%
問7 生活指導において、家庭や関連機関との連携ができています。	96.4%	2.9%	0.7%	98.0%	100.0%	90.7%	95.5%	0.9%
問8 児童生徒や保護者が学級担任以外の教職員とも相談できる体制が整っている。	86.1%	6.6%	7.3%	88.2%	83.7%	86.0%	87.8%	-1.7%
問9 学校の教育活動全般において、安全指導・防災教育を行っている。	91.2%	7.3%	1.5%	94.1%	88.4%	90.7%	93.3%	-2.1%
問10 児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会をつくっている。	94.2%	4.4%	1.5%	92.2%	95.3%	95.3%	92.5%	1.7%
問11 児童生徒の発達段階や実態に応じて、環境、国際理解、自分たちの暮らしなどについて、教育活動に取り入れている。	77.4%	19.0%	3.6%	70.6%	76.7%	86.0%	84.3%	-6.9%
問12 いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	89.8%	5.1%	5.1%	86.3%	88.4%	95.3%	91.8%	-2.0%
問13 児童生徒が将来の進路や生き方について考える機会を設けたり、一人ひとりが興味・関心・適性に応じた進路選択ができるように丁寧な指導を行ったりしている。	86.9%	8.8%	4.4%	80.4%	90.7%	90.7%	85.7%	1.2%
問14 体育祭や学校祭、校外学習、修学旅行などの学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	97.1%	2.2%	0.7%	100.0%	95.3%	95.3%	93.9%	3.2%
問15 教材提示のツールとしてパソコンやタブレットを活用している。	94.2%	5.8%	0.0%	98.0%	88.4%	95.3%	96.3%	-2.1%
問16 児童生徒がタブレットを使用する授業を実施、または計画している。	85.4%	13.1%	1.5%	86.3%	79.1%	90.7%	96.3%	-10.9%

令和4年度 学校教育自己診断【教職員用】集計結果

	肯定的 回答	否定的 回答	わから ない	小	中	高	昨年度 肯定的	比較
問17 給食の食材や献立は、配慮・工夫されている。	94.9%	2.9%	2.2%	90.2%	95.3%	100.0%	91.1%	3.8%
問18 【中学部・高等部のみ回答してください】生徒は部活動、同好会、 対外試合に意欲的に参加している。	74.1%	21.2%	4.7%	0.0%	69.8%	76.7%	R1 82.9%	-8.8%
問19 校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかに し、職朝や職員会議等で教職員に伝えている。	83.2%	14.6%	2.2%	84.3%	86.0%	79.1%	86.8%	-3.6%
問20 学校運営に、分掌部会や学部会、学年会などの会議の内容や教職員 の意見が反映されている。	72.3%	22.6%	5.1%	80.4%	74.4%	60.5%	75.6%	-3.3%
問21 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、 教職員が意欲的に取り組める環境にある。	64.2%	30.7%	5.1%	64.7%	69.8%	58.1%	71.1%	-6.9%
問22 各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能してい る。	76.6%	21.2%	2.2%	82.4%	86.0%	60.5%	83.6%	-7.0%
問23 知的障がい支援学校として、教室等のホワイトボードや掲示物、作 品展示は見やすく整理整頓されている。	83.2%	16.1%	0.7%	86.3%	88.4%	74.4%	77.6%	5.6%
問24 各教科の備品や教材教具は計画的に購入され、適切に活用されてい る。	82.5%	14.6%	2.9%	90.2%	76.7%	79.1%	78.5%	4.0%
問25 教育活動に必要な情報について、児童生徒、保護者や地域への周知 に努めている。	87.6%	5.8%	6.6%	92.2%	90.7%	79.1%	85.0%	2.6%
問26 児童生徒の個人情報に関する管理システムが確立され、適切に取り 扱われている。	92.0%	5.8%	2.2%	98.0%	90.7%	86.0%	91.0%	1.0%
問27 教職員はPTA活動に協力している。	65.0%	24.1%	10.9%	78.4%	53.5%	60.5%	73.5%	-8.5%
問28 情報提供の手段として、学校のホームページ（ブログ）やメール配 信サービスが活用されている。	88.3%	8.0%	3.6%	88.2%	88.4%	88.4%	91.9%	-3.6%
問29 個別の教育支援計画や個別の指導計画（自立活動・各教科等）につ いて、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、保護者に開示・説明してい る。	97.8%	0.7%	1.5%	100.0%	100.0%	93.0%	96.3%	1.5%
問30 部会や学年会などが教職員が意見を出し合って意思決定する場とし て有効に機能している。	89.1%	9.5%	1.5%	92.2%	90.7%	83.7%	84.3%	4.8%
問31 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役 割分担が明確化されている。	89.1%	8.8%	2.2%	94.1%	86.0%	86.0%	95.6%	-6.5%
問32 近隣の学校や地域の人との交流の機会を設け、教育活動に生かして いる。	67.9%	25.5%	6.6%	72.5%	65.1%	65.1%	R1 87.6%	-19.7%
問33 校内研修が計画的に実施され、教育実践に役立っている。	83.2%	13.1%	3.6%	88.2%	86.0%	74.4%	86.7%	-3.5%

令和4年度 学校教育自己診断【教職員用】集計結果

	肯定的 回答	否定的 回答	わから ない	小	中	高	昨年度 肯定的	比較
問34 初任者等、経験の少ない教職員を育成するために学校全体で育成する体制がとれている。	76.6%	17.5%	5.8%	86.3%	74.4%	67.4%	80.3%	-3.7%
問35 ティームティーチングにおいて、サブの教員から主担任教員へフィードバックされている。	68.6%	28.5%	2.9%	66.7%	76.7%	62.8%	80.7%	-12.1%
問36 研修・研究に参加した成果を、学年、教科、分掌等、必要な教職員間で共有している。	73.7%	21.9%	4.4%	78.4%	74.4%	67.4%	73.4%	0.3%
問37 支援教育の専門性を高めるために自主的に講習会等に参加したり、資格を取得したりするなど、知識・技能・教養を向上させる努力をしている。	80.3%	18.2%	1.5%	86.3%	76.7%	76.7%	85.3%	-5.0%
問38 必要な場面でヒヤリハットを迅速に報告するように心がけ、また、ヒヤリハットの報告をもとに、指導體制・方法等を振り返り、安全・安心な教育活動に役立っている。	93.4%	5.1%	1.5%	100.0%	86.0%	93.0%	86.8%	6.6%
問39 虐待の未然防止のために、日頃より児童生徒の変化に気づくよう努めている。	97.8%	0.7%	1.5%	100.0%	97.7%	95.3%	-	-
	85.7%		3.0%				88.2%	-2.5%